

古文書から最新の情報まで、あなたのもとへ

図書館

「図書館」を利用するのはどんな時？
今、流行の本を借りる？
資料さがし？

図書館の使命は、「資料の収集・提供」だけでなく、永久保存。何十年、何百年先の未来へ、「知の財産」として語り継ぎます。近年は、電子資料による保存や、インターネット上で誰もが利用できる電子図書館サービスも始まっています。



地域図書館

- 読書活動の推進や、展示会等を通じて生涯学習の機会を提供。
- 図書購入の要望もどうぞ！

附属図書館長からのメッセージ

三重大学附属図書館では、ネットワークを通じて、学術情報から身近な話題まで、様々な情報提供を行っています。文部科学省による「国立大学図書館における特色ある取組」で紹介されるなど地域貢献にも力を入れており、「東南海・南海地震シンポジウム」の開催や、また、今年は「モーツァルト生誕250周年を記念したコンサート」など最新の話題を取り上げて地域の皆様に情報発信をしています。



亀岡理事
(情報・国際交流担当)
・副学長、附属図書館長



渡邊理事
(総務・企画・評価担当)
・副学長



三重大学附属図書館

大学図書館

国立国会図書館



田中監事
(業務監査担当)

[URL] <http://www.ndl.go.jp/>



東京本館

(National Diet Library)

帝国図書館と帝国議会の貴族院・衆議院の図書館の蔵書を引き継ぎ、国立国会図書館法(昭和23年制定施行)に基づき設立されました。国立国会図書館法に定められた納本制度により、日本国内の出版物を収集し、保存して広く公開しています。また、外国政府や国際機関の出版物を国際交換により収集するほか、外国の資料や古文書なども収集しています。永田町にある東京本館は昭和36年に建てられ、昭和61年に地下8階の書庫を持つ新館が建てられました。資料の収蔵能力は約1,200万冊あります。



国会の立法活動の補佐も国立国会図書館の重要な仕事です。国政課題についてさまざまな調査を行い、その成果を刊行しています。

関西館

(Kansai-kan of the National Diet Library)

平成14年10月開館。総合閲覧室には約7万冊の参考図書や主要な新聞・雑誌、アジア情報室には約3万冊のアジア関係の図書等を開架しています。博士論文や文部科学省科学研究費補助金による報告書なども所蔵し、マイクロネガ保存庫や、地下3階・4階を吹き抜けにした約140万冊の収蔵能力を持つ自動書庫などを設置しています。



山田理事(教育担当)
・副学長

豊田学長



“三重大”もあつたよ



森野理事(研究担当)
・副学長



「子どもの本は世界をつなぎ、未来を拓く」

国際子ども図書館

(The International Library of Children's Literature)

平成12年1月、設立。我が国初の国立の児童書専門図書館です。明治39年創建、昭和4年に増築されたルネサンス様式の建物は、東京都選定歴史的建造物として指定されています。



◀絵本ギャラリー
[URL] <http://www.kodomo.go.jp/gallery/>



“子どもの本 イメージの伝承”から「二つのオランダ人形の冒険」

今年は、国際子ども図書館建築100周年です。これを記念して、様々な展示などが企画されています。



わかりやすく“色”でも分類された書棚

“おはなしのへや”
今日は、どんな絵本のお話が聞けるかな。